

—友好交流協定から17年— 更なる発展を願って訪中



連合鳥取は、6月6日(火)から4泊5日の行程で、7人の団員が訪中し、2000年より友好交流協定を結んでいる吉林省総工会や陝西省総工会と意見交換を行い、親睦と理解を深めました。

吉林省・長春市における総工会幹部との意見交換会では、はじめに吉林省総工会・蔡躍玲(サイヨウレイ)常務副主席から「今までの17年間の友好交流で連合鳥取から様々な事を学んできた。今回もお互いの理解を深め、互いに成長していきたい」とあいさつがありました。

続いて、本川博孝会長は、今回の歓迎に対し感謝を申し上げた後、「今、日本の労働者を取り巻く環境は、長時間労働や過重労働によって過労死という痛ましい事案が発生している。連合鳥取は安心して働ける社会・女性が活躍できる社会をめざして日々運動を展開している。今回の交流を通して日中友好関係の一層の深まりと発展をめざして、次の世代に繋がるよう実りあるものにしていきたい」と述べました。

意見交換の中では、長時間労働の問題は吉林省でも発生しており、サポートセンターを立ち上げ問題対処にあたっているとの報告がされました。また、組織加入率は

吉林省総工会とは

吉林省総工会は中華全国総工会の下部組織として吉林省を代表する組合であり、日本における連合鳥取と同様な組織である。主に福利増進と労使紛争防止の役割を持っており、吉林省各労働組合と産業労働組合の地方代表機関でもある。

連合鳥取と吉林省総工会は、1999～2000年の交流協定・協定締結以来、東日本大震災に配慮し吉林省総工会が訪日を辞退した2011年を除き、毎年交互に交流訪問団を派遣・招へいし交流を深めている。

連合鳥取ホームページから連合鳥取&各地協の Facebookにログインして

“連合鳥取の活動”をさらにチェック(^ ^)/

連合鳥取

検索

—第14回連合鳥取男女平等参画学習会開催—

連合鳥取は、「働くことを軸とする安心社会」をめざし、男女がともに働き、また、暮らしやすい男女平等参画社会の実現に向けて、「第3次男女平等参画推進計画」を策定し推進に向け、構成組織と一緒に運動を進めています。

本年は、第14回となった「男女平等参画学習会」をまなびタウンとうはくに構成組織から役員・組合員83人(内女性25人、参画率30.1%)が集い、①情勢認識の共有化、②労働組合として果たす役割、③気づき—等について学習を深めました。

講師に、連合副事務局長の山本和代さんを迎え、「男女ともに活躍できる職場に向けて」と題し、①今なぜ女性活躍・働き方改革なのか、②私たちを取り巻く現状、③男女の働き方「女性活躍推進法」、④誰もが働きやすい職場—をテーマに、図表を示しながらわかりやすく説明がありました。

また、UAゼンセン鳥取県支部長の弘中光典さん、私鉄総連日ノ丸自動車支部書記長の北川益宏さんより、各組織の男女平等参画の取り組み報告がありました。

最後に、桑村紀幸男女平等局長より、「引き続き、男女がともに、また、誰もが働きやすく暮らしやすい社会をめざし、構成組織をあけて男女平等参画の実現に取り組んでいく」ことを強く訴え、学習会のまとめとしました。



写真右上／講師：山本連合副事務局長

〈産別取り組み報告〉



左より／UAゼンセン・私鉄総連

—女性委員会役員学習会を開催—

6月17日(土)、「第14回連合鳥取男女平等参画学習会」に続き、まなびタウンとうはくにおいて「連合鳥取女性委員会役員学習会」を開催しました。

山本和代連合副事務局長との意見交換では、組合活動に携わるなかで、各自が日頃感じている問題点・疑問点を話し合い、共有化することができました。

全国農団労・農協中央会労働組合の松下聡子委員長を講師に迎えての「ファシリテーション講座」では、グループワークにて、①「組織とは」「組合とは」、②「これからの労働組合はどうあるべきか」について、ファシリテーションを活用しながら話し合いを実施しました。組合の運営については「目的」を明確にすることが非常に大切なのだということがわかり、今後の活動にあたって大変参考になりました。

(寄稿／女性委員会幹事

大野郁子さん)



講師：松下さん



—女性活躍&最低賃金について 鳥取労働局長へ要請書手交—

6月22日(木)、本川会長以下4人の役員が、鳥取労働局に出向き、①雇用における男女平等に関する要請書、②2017年度鳥取県最低賃金改定に関する要請書—を提出しました。

＜雇用における男女平等について(骨子)＞

- ①仕事と育児・介護が両立できる就業環境の整備に向けた支援の実施
- ②非正規雇用労働者が働き続けられる環境の整備
- ③あらゆるハラスメントの一元的な対応の推進
- ④LGBTに対するハラスメント対応
- ⑤次世代育成支援対策推進法に基づく認定基準・認定マークの改正
- ⑥女性活躍推進法に基づく企業等の一般事業主行動計画の策定に向けた取り組み強化

＜2017年度鳥取県最低賃金改定について(骨子)＞

- ①鳥取県最低賃金について
- ②最低賃金の引き上げにあたっての中小企業支援等の実施について
- ③特定(産業別)最低賃金について
- ④法令の周知と監督行政の強化について



ご存知ですか? 「連合鳥取第3次男女平等推進計画」②6



今回は、なぜ女性が政治に参画する必要があるのか、一緒に考えてみよう。

なぜ女性が政治に参画する必要があるの?

- 男女の人口比は半々であることを踏まえれば、**多様な民意を政治に反映**するために女性が声をあげることが求められます。
- 女性への差別的な扱いをなくし、社会的立場を向上させる**うえで女性参画は欠かせません。
- 急激な少子高齢化や格差拡大**などの課題を考えるうえで、女性の視点が必要です。

連合政治アンケートからみる女性と政治

■男女ともに若年層投票率が低い
(とりわけ20代前半は男女ともに5割を切る)

ブラックバイトとか非正規問題とか若いでも課題はたくさんあるのになあ……!



■男女ともに若年層では政治への関心が低く、男性に比べ、女性は政治への関心が低い

“政治に関心がない”といわれている女性の若年層だけど「女性の社会参加の拡大」を求めていると回答する割合は高齢層女性より高いんだって!



■男性と比較し、女性は「TV・新聞等の報道」からの影響が大きい

でも組合役員から働きかけが多いほど「労働組合のチラシや機関紙」を参考にするんだって!女性に働きかけなくちゃ!



知ろう! 気づこう! 社会の変化!!

ー西部地協「社会保障制度学習会」に80人参加ー

西部地域協議会は6月1日(木)、鳥取県労働者福祉協議会西部支部との合同による「社会保障制度学習会」を米子市コンベンションセンターにおいて、自治労境港市役所労働組合から3人、そして、西部地協の遠藤史章副議長(境港市職労)を講師に招き開催しました。

最初に、佐貫馨事務局長から「安倍政権発足以降、『社会保障制度』そのものが後退し、国民負担が増えてきた」ことの説明を行い、その後、①健康保険②介護③子育て④生活保護ーのテーマ毎に講師から説明がありました。

参加者からは、「あらためて安倍政権の社会保障を切り捨てるやり方に怒りを感じる」、また、「テーマ毎の時間が短く、もう少し深く説明がほしかった」等の意見がありました。

今後、これ以上「社会保障制度」を後退させないためにも「湯原俊二」元衆議院議員を国会に送ることの重要性を参加者全員で確認し、閉会としました。



ー西部地協「共謀罪」学習会を開催ー

西部地協は6月13日(火)、国会で緊迫している「共謀罪」の学習会を米子コンベンションセンターにて開催しました。講師に連合鳥取の田中穂事務局長を招き、組合員70人が参加しました。

初めに、来賓の湯原俊二元衆議院議員から、「過去3回廃案となっているが、安倍政権は強行に行おうとしている。組織的犯罪集団、準備行為についても何をもって判断するのか、すべて捜査機関が決める。過去の法案と中身はかわっていない。今回の法案も廃案をめざす」との力強いあいさつがありました。

続いて、田中事務局長から「共謀罪法案」の概要、対象犯罪、そして「共謀罪法案」に対する考え方と対応方について、わかりやすく講義がありました。その中でも定義の曖昧さが指摘され、一般市民が巻き込まれたり、準備行為で逮捕、また電話やメールそのものが犯罪とみなされるようになり、盗聴や潜入捜査等が可能になると説明がありました。昨年の参議院議員選挙においても、連合大分東部地域協議会に大分県警別府署員が隠しカメラ2台を設置し、建造物侵入罪が適用されましたが、今後は合法的に行われる可能性があります。

学習会のまとめとして、①「共謀罪」が可決されるならば私たちの活動範囲を狭めるなものでもないこと、②引き続き産別・単組の会議等で「共謀罪」の問題点、恐ろしさを組合員に訴えること、③湯原俊二紹介者カードの取り組みに引き続き取り組むことーを確認し閉会しました。



※「改正組織犯罪処罰法(共謀罪法)」の成立に抗議する談話(2017年6月15日)は「連合ホームページ」の「事務局長談話」から確認できます。

連合 検索

すべての人が働きやすい 職場をめざして

ー全国一斉労働相談ダイヤルを実施ー

6月12日(月)・13日(火)の2日間、連合「女性のための労働相談ホットライン～職場のモヤモヤありませんか?～」を統一テーマとした全国一斉集中労働相談ダイヤルが行われ、連合鳥取も産別からの相談員(うち3人女性)と専従役員が相談電話に対応しました。妊娠による契約更新打ち切りや「イジメ・嫌がらせ」、介護職場での無理なシフト体制など、相談キャンペーンのPRチラシを配布してから13日までに6件の相談が寄せられました。



Information

※詳しくは、連合鳥取事務局へお問い合わせください。

各地域協議会／ピースウォーク

西部(中央)	東部	中部
8月2日(水)18時15分集合 集合/商工会議所前ポケット広場	7月29日(土)9時45分ー とりぎん文化会館	7月28日(金)18時30分ー 集合/倉吉体育文化会館
◆デモ行進出発(18時20分) ⇒米子駅前まで ⇒徒歩で米子コンベンションセンター・小ホールに移動	◆平和学習 ○<長編アニメ映画>「ジュノー」上映 ○平和の折り鶴作成・アピール採択	◆デモ行進出発(18時30分) ⇒倉吉駅前(ローソン周辺)歩道でデモ解散 ⇒徒歩でホテルセントパレス倉吉に移動
◆平和学習会 ODVD「知らない沖縄」 ○講演「美保飛行場の歴史と住民運動」 ・アピール採択	◆デモ行進/周回コース とりぎん文化会館→(若桜街道)→若桜橋(左折)→NHK前→とりぎん文化会館P	◆平和学習 ○紙芝居(大山口列車空襲被害者の会)「大山口列車空襲」「鉄路のかなたへ」 ○朗読「大人になれなかった私たち」 ・アピール採択

女性委員会／産別交流会

◆日 時	7月23日(日)受付/9時45分ー 開会/10時ー 終了/12時10分(予定)
◆場 所	倉吉未来中心・セミナールーム7
◆内 容	①分散会<テーマ>「わたしの、わたらしい生活・時間」 ②イメージアップセミナー ー美しい歩き方・魅力的な表情(笑顔)の作り方などー 講師/高橋徳子さん(アール・ツーエージェンシー所属)
◆参加要請	各産別・単組1人以上(女性委員会役員除く)
◆締切日	7月12日(水)
◆準備品	筆記用具・手鏡・パンプス(履いてこれてもいいです)・お茶等飲み物 ※産別を通じてご案内しています。



湯原 俊二

— りょくひ 緑肥の想い —

- *組合行事に湯原さんをお呼びください。
- *湯原さんの想いを直接聞いてください。
- *そして、私たちの声も湯原さんに届けましょう。

連合鳥取金属部門連絡会
第3回幹事会

6/1 鳥取県労働会館会議室

NTT労組退職者の会
西部地区幹事会

6/7 NTT米子OBルーム

支援の輪を
広げましょう



自治労鳥取県本部
第56回中央委員会

6/2 まなびタウンとうはく



中部地協「政策実現集会」

6/7 倉吉シティホテル



東部地協「政策実現集会」

6/8 とりぎん文化会館



鳥取県教職員組合
第73回定期大会

6/10 中部教育会館



西部地協「共謀罪学習会」

6/13 米子コンベンションセンター



部落解放鳥取県共闘会議
第24回定期総会

6/27 中部教育会館



全国一般鳥取地方労組
第4回執行委員会兼支部代表者会議

6/29 米子コンベンションセンター

湯原俊二 夏の集いに参加しよう！

- ◆日時 7月29日(土)14時00分～
- ◆場所 スマイルホテル(旧サンルート米子)
- ◆内容(講演)
「頼り合える社会」の構想
～将来不安から人びとを解放放つために～
講師/慶応大学教授 井手英策さん
(財政学者)

“ザ・議員”

福井 康夫 倉吉市議会議員

今秋の10月には、市議会議員の改選を迎えます。

実質28年間の議員活動に、支援をいただき感謝しています。現在、議会選出の倉吉市監査委員として行政事務に関わる一方で、議会では教育福祉常任委員会に所属しています。

特に、「子育てを支える環境の充実」や「高齢者・障がい者を支える医療・福祉の充実」に向け取り組んでいます。

また、昨年の中部地震で受けた、震災からの復興をめざして全力で取り組んでいきます。

日々の暮らしが、何よりも安心して暮らせる街づくりと地域の伝統・文化を活かしながら、夢と希望そして安らぎの市政を追及していきます。

連合鳥取のみなさまの、引き続きのご支援をお願いいたします！



田辺市・教育体験旅行の様子
一番右が福井議員

中野 隆 倉吉市議会議員

鳥取県中部地震のために、倉吉市では多くの方が被害を受けました。8カ月経た現在でも、ブルーシートで覆われている家が多くあります。見積金額が150万円以上で、とても直せないということも聞きます。家の中の壁の被害も大変です。

3月議会と6月議会では「市職と教員の超過勤務」のことを質問しております。市職員は地震のために超過勤務が増えているが、管理職が残業を管理して、過重にならないようにしているという答弁でした。教員については管理されておらず、まさにブラック企業の状態です。私は「残業を減らせ」という掛け声だけでは減らないと言っています。



狭山事件の再審を求める
市民集会(東京)に参加

てんじんくらぶ

「ゆとり教育で育った世代は、仕事ができない」

そんな言葉が当たり前になっているこの時代ですが、本当にゆとり教育(一般的に1990年代の学校教育)が原因なのか私は少し疑問を抱いています。実際に早期離職者・メンタル不全者の数は増加傾向にあります。その原因を「ゆとり教育」と断定するのは大きなリスクが伴います。▼確かに私たちが経験した「ゆとり教育」は、学力面での影響は大きいですが、職場で大事なものは学力よりも人とのコミュニケーション力であったり、礼儀礼節等の学力以外の部分が大きいと思います。そのため職場等で失敗してしまった際に「ゆとりだから」と一言で片づけるのは指導として間違っていると思うので、面倒でも①何がいけなかったのか、②どうすれば良かったのかを教えるのがあるべき指導の姿だと思います。▼私たち、ゆとり世代自身も「ゆとりだから」と言われなように、死に顔張り(ゆとりマン)ます。

